

シンボルロード「ハナミズキのみち」 完成記念碑建立コンサート

ハナミズキの願い ～あの日から未来へ～

2019
5/12日

会場：陸前高田市コミュニティホール
時間：13:00 開場
入場無料

共に生きる

二〇一二年三月十二日 東日本大震災と名がつけられたその日、多くの市民が犠牲となりました。遺族のやりきれない悔しさがありません。その悔しい思いが、もう二度と繰り返すことのないように、大地震後の津波を想定しより高い所へ逃げる道にハナミズキを植樹して明示します。「この道を、より高い所へ、駆け上げろ」と亡き人たちの想いと共に、伝え続けます。

記念碑 碑文より

避難路シンボルロード完成につき、記念碑を建立いたします。

また、記念コンサートを企画いたしました。陸前高田市内で初めての黒井健先生の原画展も同時開催いたします。ぜひ、足をお運びくださいますようご案内申し上げます。

◆5月11日②
**黒井先生
サイン会**

◆16:00～18:00
◆アパッセ、伊東文具にて

【同時開催】

黒井 健
「ハナミズキのみち」
原画展

◆10:00～16:00
◆コミュニティホール2階中会議室にて
◆入場無料

■黒井 健(絵本画家)

代表作品：ころわんシリーズ

てぶくろをかいて、さんぎつねなど

震災以来、焦りにも似た気持ちで落ち着かない日々だった。

陸前高田の親子の話を聞き、役に立ちたいと事をつとめた。

「濱島秀行」◆14:05～14:25
バイオリンコンサート

5才よりヴァイオリンを始め、2005年よりソロ活動を開始。翌年、ヴァイオリンフルート・ピアノで構成されるユニットwingを結成。現在まで4枚のCDをリリース。

2012年、「千の音色でつなぐ絆」プロジェクトに参加し、岩手県陸前高田市の震災瓦礫から作られたヴァイオリンを演奏する。音楽療法士・演奏家としての活動にて、平成27年度岐阜市芸術文化奨励賞受賞。『音楽の力で人を幸せにしたい』という思いで、福祉施設や病院・学校での公演を積極的に展開している。

「ドートレトミシー」コンサート
◆14:35～14:55

2005年夏の終わりに長尾匡祐(ナガオキヨウスケ)とギターと、せらよし子(セラノ)が大阪のある駅前の路上ライブで出会い結成。

多くの人と関わりながら「心に灯りをともすように歌を届けたい」とカフェやイベントなど日本各地でライブを行う。

「ドートレトミシー」とは「多くの人へ伝わる音楽」という願いを込め世界共通の言葉でレミから名付けた。

<https://dotoretomisei.themedia.jp/>

はたけやま裕「ハナミズキの願い」
◆15:05～15:45

■はたけやま 裕
陸前高田市生まれ地育ち。バカッシュニスト、国立音楽大学打楽器専攻卒業。

卒業時に日本打楽器協会新人演奏会で最優秀賞にあたる特別受賞。桑田佳祐、井上尚水、加藤登紀子、由紀さおり、幸島美登里、江口洋介、山下洋輔(jazz pf)、古澤巖(vn)、上妻宏光(津軽三味線)等、サポートや共演多数。第21期歴々沼津大使。2018年10月よりこのす観光大使就任。

2007年から5枚のソロ名義のアルバム、1枚のカンパニーDVD、カンパニー別本をリリース。2014年にはあるさと陸前高田「ハナミズキのみち」の会、趣旨に賛同し、古澤巖氏プロデュースにてアルバム「ハナミズキの願い」のタイトル曲を会への応援ソングとして作曲。

<http://www.you-hatakeyama.com/>

■佐藤 竹善
SING LIKE TALKINGのボーカルとしてデビュー。

「93年『Encounter』、'94年『Togetherness』の両アルバムはオリコン登場1位。現在まで14枚のオリジナルアルバムを発表。総売上300万枚以上を記録。その活動と平行して'95年に発表したカバーアルバム『CORNERS/STONES』から本格的にソロ活動開始。

その他、多数のアーティストのレコーディング参加、楽曲提供やプロデュースなどでも高い、高い評価を受けている。

2018年、SING LIKE TALKING がデビュー30周年を迎え、東京国際フォーラムなどで、ライブを開催。2019年、デビュー30周年以降もますます活発な活動を続ける。

<http://singliketalking.jp/>

■古澤 巖

葉加瀬太郎、高崎ちさ子との「三大バイオリンスト」及び、東横秀樹、cobaとの「FCS5」メンバー。FM新潟放送番組「シャウトストリーム」テーマ曲Mr.Lonelyをペルリンフィルメンバーと演奏している。Eテレ「旅するイタリア語」(2017-2018年)に出演。震災後はたけやま裕のアルバム「ハナミズキの願い」を制作。洗足学園音楽大学客員教授、テラモスレーシングチーム所属。

■Keiko

広島生まれ、東京芸術大学作曲科卒業。4歳からピアノ、6歳から作曲を始める。幼少期よりエレキトーン、作曲コンクールなどで全国1位を受賞。大学在学中よりユニット「Vanilla Mood」として、NHK「お昼ですよ!ふれあいホール」日本テレビ「PONT」にレギュラー出演し、日替わり曲を演奏。avexよりデビュー。また作編曲家、大音楽家として数多くの作品を手掛けている。

■森本 香

郡内で二店舗美容室を営み自身も美容師として活躍中。大震災の後、美容師として何か出来る事があるのではないかと考え親友のはたけやま裕の生れた町、陸前高田に物資の支援を協力。その後、はたけやま裕が率いるミュージシャンチームと共に、自身の店のスタッフを連れ「音楽とカット」のボランティアを3年間続け、被災した景色や被災した方々の沢山のお話を聞いた中で、はたけやま裕の曲「ハナミズキの願い」の歌詞を手がける。

実施団体：陸前高田「ハナミズキのみち」の会(お問合せ先 080-1852-5787)

後援：岩手県沿岸広域振興局、陸前高田市、陸前高田市教育委員会、陸前高田ライオンズクラブ、陸前高田ロータリークラブ、陸前高田青年会議所、陸前高田商工会、陸前高田市観光物産協会、岩手日報社、(株)東海新報社、河北新報社、(株)金の星社、(株)遠藤石材、芳樹園、弘前アップルロータリークラブ、妙深寺、(有)柴田建設、(株)山十、伊東文具店

